



# 深三だより

自主・自立 気品・誠実 気力・体力 社会貢献



ホームページ  
QRコード

江東区立深川第三中学校  
(江東区越中島 3-7-1)  
☎ (3641) 5948  
発行人 校長 月田 行俊  
令和8年5月号 No. 384

ホームページもご覧ください。 <https://fuka3-chu.koto.ed.jp/>

## 開校記念日にちなんで

5月10日は開校記念日でした。

戦後間もない昭和22年3月31日に教育基本法・学校教育法が公布され、4月1日に6・3・3学制が発足した5月10日に都立第三商業高等学校内で深川第三中学校は開校しました。3年後の昭和25年7月に現在地に新校舎が完成しますが、7ヶ月足らずで火事により焼失し、昭和27年8月に、ようやく新校舎に移転しました。それまでの約5年間は、第三商業高校や明治小学校、数矢小学校を間借りするなど、多難な時代があって現在に至ります。校歌は、昭和28年9月発表会が行われ、歌い続けられています。



【深川第三中学校2000年時】卒業アルバムより

江東区地域振興部文化観光課文化財係が発行している「下町文化」によれば、越中島は、17世紀後半には土地を形成し、「武土地御拝領（ぶしちごはいりょう）の御屋敷」となっていました。そこが、榊原越中守の拝領地であったため、越中島となったと言われています。しかし、風が強く、高波によって徐々に屋敷地が流出するため、のち、榊原氏は幕府に返上し、「御上り地」となりました。その後の元禄年中（1688～1704）には、越中島そばを流れる大川筋（隅田川）の上総藩（かずさのみお：現在の永代や深川、佃島周辺の河口から品川沖側にかけて）が埋まったため、土をさらい、

その土を「榊原越中守様御上地跡」地に利用しました。そのため土地が高くなり、正徳元年（1711）には御家人43人の拝領町屋になりました。その際、文政11年当時に越中島町の定行事をしていた平助の「祖々父平助」が預かり、地守り役を勤めたようです。

現在、越中島は1～3丁目までのかなり広い地域名となっていますが、幕末以降に進められた埋め立てにより、現在の形ができあがりました。江戸時代はもっと狭い範囲で、越中島の名称が使われていました。

天保13年（1842）には武家地となり、松平下総守と水野土佐守の2つの大名の下屋敷（現在の越中島1付近）があり、その隣に石置場（越中島1・牡丹1・古石場1付近）がありました。この石置場は、越中島町を拝領して以降、石問屋の石置き場として町が貸していたことから、地元で自然と「石置場」と呼ばれるようになったようです。

幕府は、ペリー来航（1853）以来、軍事訓練の必要性を感じ、安政2年（1855）にこの地一帯を「訓練場」としました。

明治に入り、町全体が陸軍用地となり、引き続き「調兵場」として使用されましたが、24年（1891）に廃止されました。



【参考】 <https://tonbiwing.com/ep/dzi/dzi-edo01-edo.html>



# 笑顔満祭 ～絆でつなぐ 勝利のバトン～



# 第78回 運動会

令和8年5月23日(土)

